

安城学園高等学校 同窓会会則

2020.2.18

■第1章 名称及び事務局

- 第1条 本会の名称を安城学園高等学校同窓会と称する。
- 第2条 本会は、事務局を安城学園高等学校内に置く。

■第2章 目的と事業

- 第3条 本会は、会員相互の連絡と親睦を図るとともに、安城学園高等学校の発展に寄与することを目的とする。
- 又、安城学園の他の同窓会との交流を行い、親睦を図る。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- 1 会員の互助
 - 2 会員名簿の整理
 - 3 母校が行う事業への協力
 - 4 安城学園の他の同窓会との交流及び親睦
 - 5 その他、本会の目的達成に必要と認められる事業

■第3章 会 員

- 第5条 本会は、次の会員により構成する。
- 正会員
- 1 安城学園女子短期大学附属中学校卒業生
 - 2 安城学園女子高等学校卒業生
 - 3 安城学園女子短期大学附属高等学校卒業生
 - 4 安城学園高等学校卒業生
- 特別会員
- 教職員及び旧教職員

■第4章 役員幹事の選出方法及び任務

- 第6条 本会に次の役員を置く。
- 1 顧 問 若干名
 - 2 会 長 1名
 - 3 副 会 長 若干名
 - 4 事務局長 1名(副会長が兼任)
 - 5 幹 事 長 1名
 - 6 書 記 4名
 - 7 会 計 2名
 - 8 監 査 2名
 - 9 学外・学内代表幹事 若干名
- 第7条 本会の役員の選出は、次の方法で選出する。
- 1 顧問は、安城学園理事長、安城学園高等学校長、同窓会役員経験者とする
 - 2 会長は、役員会の推薦によって選出し、総会の承認を得る。
 - 3 副会長は、2項に同じとする。
 - 4 事務局長は、副会長の中から会長の委嘱によって定める。
 - 5 幹事長は、会長の委嘱によって定める。
 - 6 書記は、5項に同じとする。
 - 7 会計は、5項に同じとする。
 - 8 監査は、5項に同じとする。
 - 9 学外・学内幹事は、5項に同じとする。
 - 10 卒業年次ごとの幹事は、同期会員の互選による。

- 第8条 本会の役員、幹事には次の任務がある。
- 1 顧問は、本会に助言し諮問に応える。
 - 2 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
 - 3 副会長は、会長を補佐し、会長不在又は事故ある時はその代理をする。
イ すべての会の議事、資料作成 ロ 会の進行
 - 4 幹事長は、幹事会を掌握し、幹事会を統括し、幹事の意向を役員に計る。
 - 5 事務局長は、各会の事務運営を担当、処理する。
イ 通知文作成等 ロ すべての通信事務の指示
 - 6 書記は、本会の運営上の記録、整理、保管をする。
イ 会員名簿の整理、保管、宛名ラベルの印刷
ロ 各会の議事録作成と保管
ハ 会報の発行等
 - 7 会計は、本会の経理事務を処理する。
 - 8 監査は、会計事務の監査に当たる。
 - 9 幹事は、幹事長の指示により幹事会、総会等の会務を分掌する。
但し、学内の幹事は同窓会行事に積極的に協力する。

- 第9条 役員、学外・学内幹事の任期は、3年とする。但し、再選はさまたげない。
任期中に選ばれた場合は、残任期間とする。

■第5章 会 議

- 第10条 本会の会議は総会、役員会、幹事会とする。
- 1 総会は、年1回を定例とする。議長は、会長とする。
 - 2 役員会は、年2回を定例とする。但し、会長は、必要に応じて開くことができる。
 - 3 幹事会は、年1回を定例とする。但し、幹事長は、必要に応じて開くことができる。

■第6章 会費及び会計

- 第11条 入会金10,000円とし、会費は必要に応じて徴収する。
- 第12条 会費の徴収は、卒業年次四期の学納金納入時に徴収する。
- 第13条 本会は、入会金、会費をもって運営する。
- 第14条 本会の事業、予算、決算は、総会の承認を得なければならない。
- 第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。
- 第16条 本会の資産は、安城学園高等学校同窓会長名で銀行、信金、郵便局で保管する。

■第7章 通信及び事務

- 第17条 総会は、書面・インターネット・新聞広告等で通知する。
- 第18条 会員は、住所、氏名等を変更した場合は、本会に通知すること。

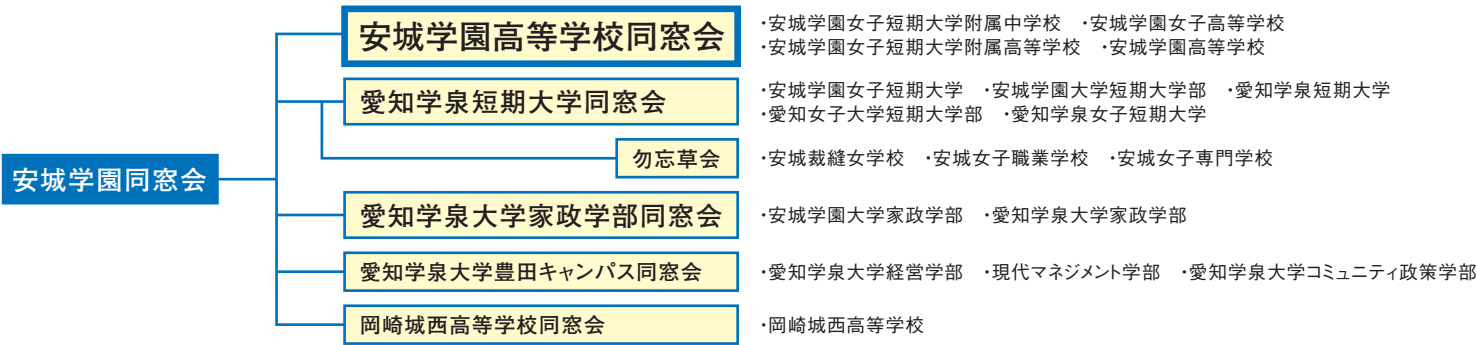
■第8章 支部会について

- 第19条 支部からの要望があれば、地域別の支部会を開催することができる。

■第9章 付 則

- 第20条 本会の慶弔規定は、その都度、役員会で協議する。
- 第21条 本会則の変更は、総会の議決により行うことができる。
- ・本会則は、平成16年10月24日より実施する。
 - ・本会則は、平成21年9月26日 一部改正。
(但し、第5章 会費 は平成22年度より改正)
 - ・本会則は、平成22年6月12日 一部改正。
 - ・本会則は、平成29年6月3日 一部改正。(6条の9と7条の1)

組織図



安城学園高等学校 同窓会会報



卒業を祝して



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして、皆様と同窓会へ入会して頂きましたことを心より感謝しております。

この同窓会は、昭和21年に安城学園同窓会「勿忘草会」として設置されましたが、平成16年に大学、短大、高校の3つに分離独立し、「安城学園高等学校同窓会」として発足して16回目の入会式を迎えました。

現在、同窓会の会員は、皆様を迎え入れて7,307名、勿忘草会員を含めると35,419名です。本当に長い歴史と伝統を感じさせられます。

現在、母校は皆さんの活躍で文化面・運動面ともに全国に名を馳せ、安城市になくはならない存在として大きくはばたいております。

本年度沖縄で開催されたインターハイで活躍された陸上部(個人優勝2名、フィールド総合優勝、総合7位)、全国大会で優秀な成績を収められた吹奏楽部、弦楽部、ウィンターカップに出場したバスケット部、そして各クラブで活動されている皆さんの頑張りは、私たち同窓生に熱い心と力強いソパワーそし

同窓会の発展を願って



生きる「意志と力と歓び」に満ち溢れた人生を送ることができるよう!

理事長 寺部 暁

貴同窓会におかれましては益々ご清栄のことと心より喜び申し上げます。

学校法人安城学園は、現在7つの設置校から成り立っています。その中で一番歴史と伝統のあるのが安城学園高等学校です。安城女子職業学校からスタートし、(女子)高等学校に改組され、現在は男女共学校になりました。これもひとえに創立以来入学していただいた卒業生の皆様のお陰であります。

ところで、私立学校とは何でしょうか?それは、創立者が存在する学校です。それは、創立者の夢を実現するために教職員が精進している学校です。それは、在校生が『真心・努力・奉仕・感謝』の四大精神を身に付けるために精進している学校です。それは、卒業生が、『真心・努力・奉仕・感謝』の四大精神を人生の糧として、社会で活躍している学校です。これが私の答えです。

創立者の夢は、経済的にだけでなく、政治的にも、文化的にも自立できる社会人を育成することでした。この内容は、現代社会でも通用する素晴らしい内容だと思います。そこで、創立者の夢を現代社会で実現するために、「智・徳・体・感・行」という新しい教育モデルを開発し、それに基づいて「自ら学ぶ力と共に学ぶ力」を育成するために、教育改革に取り組んでいるところです。

最後に、「学校あつての同窓会、同窓会あつての学校」です。貴同窓会及び会員の皆様の益々のご発展をご祈念申し上げるとともに、なお一層のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。



「本気で挑戦、全力で応援する学校」を目指し、無限の空に夢をはじめめる母校を一度訪れてくださいますように!

校長 関 神一

同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から母校に対して多大なるご支援とご協力を賜り、感謝申し上げます。

本校は「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を通して、家庭と社会に温かい心と新しい息吹を与えることのできる人間を育成することを建学の精神とし、「誰でも無限の可能性を持っている」という創立者の言葉を大切にしながら、生徒及び教職員が日々の様々な活動等に本気で挑戦し、それを全力で応援する学校を目指しています。

今年は、陸上部が沖縄で開催されたインターハイにおいて、円盤投げ(3年:近藤未空さん)と三段跳び(3年:小寺波音さん)が見事優勝し、フィールド総合部門においても全国優勝という素晴らしい成績を残してくれました。

「こうした自分たちの仲間が頑張った時、頑張ろうとした時、そしてそれを応援する時、私たちはそれを支え合う事ができる学校として自信が持てる」という生徒会役員の声を受け、本校を「本気で挑戦、全力で応援する学校」という言葉で表現することにしました。

今までの同窓生の皆さん、そして今年、同窓会会員になる399名の皆さんも、これからの人生において、本気で挑戦することを忘れず、「自立することによって、生きる意志と生きる力と生きる喜びに満ち溢れた人生を送ることができる」ことを願っています。

今後とも、母校である本校に対し、ご指導・ご鞭撻して頂くをお願い申し上げます。

第16回 安城学園高等学校同窓会総会が開かれました

日時 令和元年6月1日(土)
午後1時
場所 視聴覚室(西館3F)

【総会】

- 1 開会のことば
- 2 同窓会会長あいさつ
- 3 理事長あいさつ
- 4 校長あいさつ
- 5 議長選出
- 6 議題
 - 1)平成30年度 事業報告
 - 2)平成30年度 会計報告・会計監査報告
 - 3)令和 元年度 事業案
 - 4)令和 元年度 予算案
 - 5)その他
- 7 お祝いの会
- 8 ミニ音楽会(合唱部)
- 9 閉会のことば

安城学園高等学校同窓会・会務報告(総会開催時)

～平成30年度事業報告～

- 役員会……………(5月・11月・3月)
- 総会案内発送……………(4月)
- 幹事会・総会……………(6月)
- インターハイ応援……………(8月)
- 学園祭事業参加(パネル展示・造花体験講座)
- 文化部定期演奏会鑑賞……………(2月)
- 30年度卒業生同窓会入会式……………(2月)
- 会報「おもいでぐさ」11号発行……………(2月)

～令和元年度事業報告～

- 役員会……………(5月・11月・3月)
- 総会案内発送……………(4月)
- 幹事会・総会……………(6月)
- インターハイ応援……………(8月)
- 学園祭事業参加(パネル展示・体験講座)
- 文化部定期演奏会鑑賞……………(2月)
- 令和元年度卒業生同窓会入会式……………(2月)
- 会報「おもいでぐさ」12号発行……………(2月)



▲第16回高等学校同窓会総会 成人・還暦お祝い集合写真

同窓会総会・学園祭 同窓会コーナー



▲同窓会総会 合唱部



▲同窓会会長→生徒会会長 学園祭協賛



▲学園祭 寺部清毅先生 パネル展示風景

同窓会役員

顧問	寺部曉(理事長)、関神一(校長)、 鶴田紀美子(前同窓会会長)
会長	森脇康代
副会長	藤井京子、天野真弓、 神谷良美、岡田叔子
幹事長	浅井恵
書記	榊原ゆり、蟹江登喜子、 石田桂、星野訓代
会計	渡辺貴美、神谷美鈴
会計監査	大久保一代、青山勅子
学内代表	黒柳多栄子
学外代表	笠井瑞貴、黒柳馨
相談役	佐藤順(教頭)

幹事

平成29年度	平成30年度	令和元年度
普1組 姫野レチシア明美	普1組 山中 祐里奈	普1組 平坂ジュリアナゆき
2組 伊藤 亜希	2組 富田 渚	2組 渡辺 優菜
3組 森川 真琴	3組 鈴木 友梨香	3組 菅沼 歩夏
4組 山本 花菜	4組 尾嶋 日菜乃	4組 田口 ゆきな
5組 成田 和佳奈	5組 北原 はるひ	5組 辻村 乃愛
6組 中川 侑河	6組 兵藤 亮太	6組 加藤 丈勝
7組 渡邊 岳	7組 黒木 愛華莉	7組 足立 絵理
8組 金子 竜馬	8組 榊原 徹	8組 田畑 琳香
9組 近藤 翔太	9組 西尾 柊二	9組 上村 颯太
10組 加藤 大登	10組 改田 貴一	10組 佐藤 綺華
11組 羽佐田 諒	11組 岡田 宗一郎	11組 田丸 いずみ
12組 野々山 ひかる	商1組 藤原 孝介	商1組 市川 拓海
商1組 鈴木 朋也	2組 稲垣 梨々香	2組 小原 早智
2組 志賀 雅貴		
3組 原 文音		

※年次幹事は終身幹事です。

同窓生という「輪」

歳月は流れて

山崎 佳子(昭和52年度卒)



昨年、還暦を迎えました。私が高校に通学していた頃は、女子校で家庭科、商業科、普通科があり、私は普通科を卒業しました。高校を卒業して42年の歳月が過ぎ去った今も、「建学の精神」「真心 努力 奉仕 感謝」の気持ちを大切にしています。

昨年6月1日に何十年ぶりに母校へ足を運び、安城学園高校同窓会総会に出席させて頂きました。現在、同窓会会長をしてみえる森脇康代先生をはじめ、懐かしい先生方にお目にかかることが出来、大変嬉しく思いました。総会後には校内を見学する機会があり、男女共学となった今、校舎から見る景色、各教室など、私の目に映る全てが新鮮で、改めて時代の流れを感じた次第です。

また、昨年と一昨年には、高校3年の時の担任であった脇田治先生を囲んでクラス会を行ない、楽しい時間を過ごしました。安城学園高校の卒業生でよかった。心から感謝しています。

卒業生からのたより

安城学園高校で学んだこと

山花 宴(平成30年度卒)



平成27年4月、私は保育士になるのが夢で、その夢を叶えるために安城学園高校のこども教育・芸術コースへと進み3年間友人達と切磋琢磨してきました。

高校生活をしている中で勉強以外に部活動にも参加していました。私は合唱部に3年間所属し、最高学年になった際には副部長を任せていただき、同学年や後輩の仲間たちと力を合わせ努力してきました。高みを目指す上で部員と意見がぶつかり合いましたが、その都度話し合いを行い皆の気持ちを1つに団結していきました。何度も心が挫けそうになったけれど、仲間たち全員に支えてもらい最後まで副部長の職を全うすることが出来ました。

私は今、愛知学泉短期大学で保育士になるべく勉強をしています。先日内定も頂き、4月から晴れて保育士として働くことが決まりました。私はこの高校3年間で学んだ仲間の大切さ、団結することの大切さを今後の保育の現場で活かしていきたいと考えています。

ひたすら努力

松下 詩歩(平成27年度卒)



早いもので大学生活も残りわずかとなりました。今は卒業論文の執筆や吹奏楽部での活動など、忙しく楽しい大学生活を送っています。

今年は教育実習生として、安城学園高校に行かせていただきました。慣れない指導案作成や授業、生徒との関わりの難しさ…上手い・かいないことばかりで、改めて「先生」の大変さ、教えることの難しさを痛感する毎日でした。しかし、それと同時に教員という職業の魅力、楽しさも沢山感じることができ、「絶対に先生になりたい」という思いも強くなりました。ひたすら授業と生徒と必死に向き合った3週間でした。実習中安城学園高校では、諦めずに粘り強く向き合うことの大切さを学ばさせていただいたと思います。

今春から無事に教員として働くことができることになりました。どんなときも感謝の気持ちを忘れず、常に成長していけるよう努力していきたいです。

同窓会にご参加ください

黒柳 馨(平成28年度卒)



私は3年間役員をして多くの人が安城学園高等学校の事を懐かしく、また大切に想っているということがわかりました。同窓会の学外幹事として活動をしていく中、私よりずっと年上の方や同級生と会う機会が何度かあり、新鮮な出会いや久しぶりの同級生との会話ができて、自分自身もとても

楽しいと思えることがありました。私以外にも集まって会話をしている方がおり、久しぶりに集まるという機会を作れる同窓会をより一層盛り上げていきたいと身の引き締まる思いでした。他の役員の方々も会議で積極的に意見を出され、学園祭ではパネル展示をするなどして同窓会を盛り上げていこうという思いを感じました。

是非今まで来てなかった方も同窓会に参加していただけるとより一層盛り上がっていくと思います。今後とも同窓会の発展のために頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

編集後記

新しい年、令和を迎え、安城学園高等学校がより一層の発展と充実を願うとともに各部活動の素晴らしい成績は誇りであります。東日本災害地に生徒のボランティア活動の報告もあり、今後も各分野でのご活躍に心より応援し続けていきたいと思っております。

会報発行も12号となりました。これも一重に関係各位のご尽力のお陰と感謝申し上げます。6月の総会、9月学園祭に同窓会コーナー「寺部清毅先生のあゆみ」パネル展示、卒業生の様子等、お伝えし読んでいただける会報をとの思いで編集に取り組んでいます。今後も同窓会の発展を願い、会員の皆様の絶大なるご協力とご支援をいただけますようお願い申し上げます。※会員の皆様の住所変更がありましたら、安城学園同窓会事務局までご連絡下さい。

2020年

同窓会総会案内

2020年6月6日(土)

13:00~14:00

安城学園高等学校 視聴覚室

多数のご参加をお待ちしています。